

8 大島駐在所の移転及び交番化について (再要望)

県	警 察 本 部 地 域 部
---	---------------

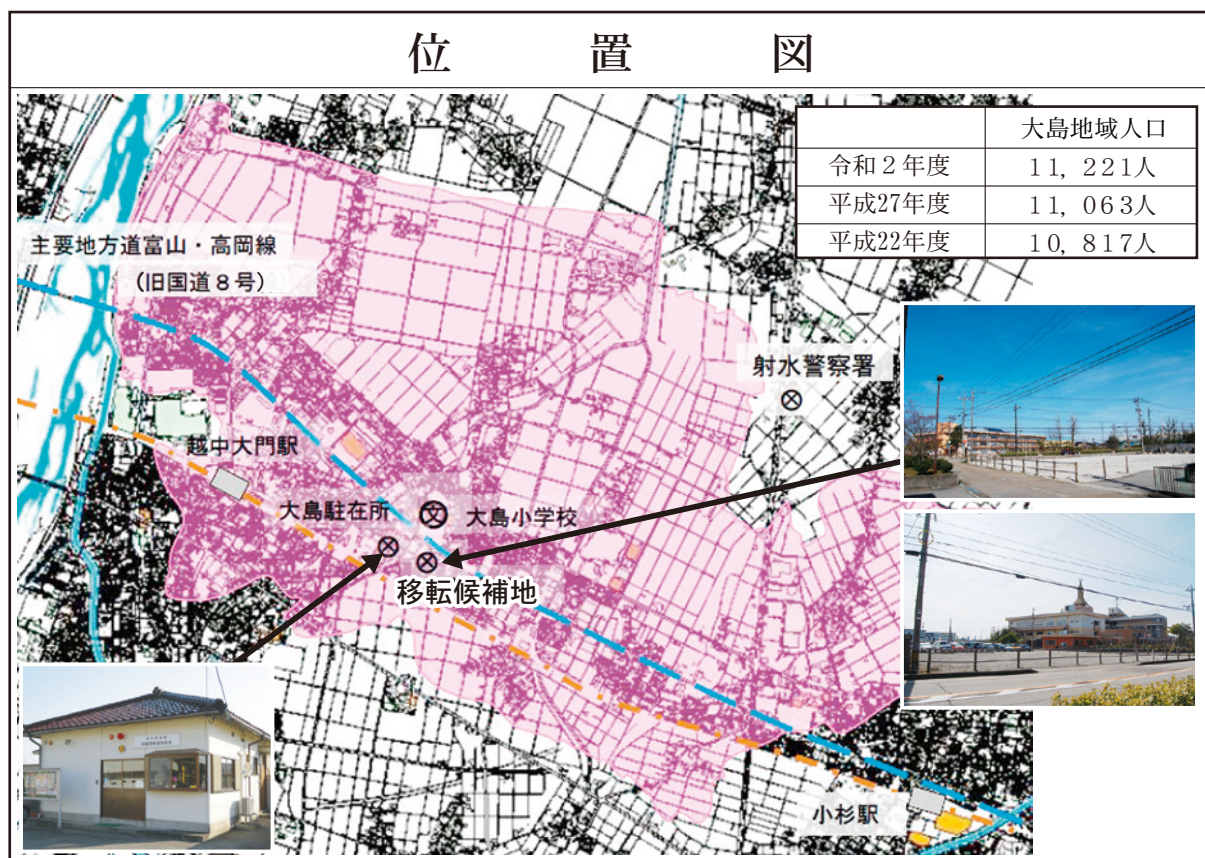
大島地域は、本市の中でも人口増加エリアで、幹線道路沿いには商業施設が進出するなど、都市化が著しい地域です。また、エリア内には越中大門駅があり、人の行き来も多いことから、各種犯罪の発生や交通事故件数の増加が懸念されており、平成31年2月には、殺人事件も発生しております。

こうしたことから、現在の大島駐在所は、地域住民や移動者がわかりやすく、かつエリアの中心軸である主要地方道路富山・高岡線に面する場所へ移転し交番化することで、犯罪抑止及び交通事故防止に大きな効果が期待できると考えております。

つきましては、防犯体制の強化及び地域住民の体感治安の向上を図るため、大島駐在所の移転及び交番化について格別のご配慮をお願いいたします。

なお、本市といたしましては、移転先候補地として、現在の駐在所から約200メートル東側の県道沿いの市有地をご提案したく考えております。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
大島駐在所の移転及び交番化	大島地区	県	安全・安心の確保



9 プラスチック資源循環の推進に関する技術的支援について（新規）

国	環境省環境再生・資源循環局
県	生活環境文化部環境政策課

本市では、プラスチック資源循環を推進するため、これまでマイバック運動やポイ捨てごみ撲滅運動、海岸や河川のクリーンアップ事業を展開し、市民活動の推進や個人意識の向上など、資源循環型社会の構築に向けた取組を行ってきたところです。

今後は、「プラスチック・スマート先端都市射水」を目指し、指定ごみ袋へのバイオマスプラスチックの導入やエコステーションの設置等を先進的に取り組み、プラスチック製品その他素材への切り替えといった意識改革や新たな技術開発により、プラスチックの発生を抑制するとともに、廃棄物を資源として循環させる体系づくりや二酸化炭素の削減を一層進めたいと考えています。

しかしながら、これらの取組を推進するためには、導入にあたっての流通面等の課題整理や導入経費など、自治体の負担は少なくありません。

つきましては、バイオマスごみ袋の製作コスト削減のための製造業界に対する技術的支援や更なる回収を進めるための地方自治体への支援に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
バイオマスプラスチックの導入	射水市	市	市指定ごみ袋のバイオマス製品への仕様変更（バイオマス原料10%以上使用）
エコステーションの設置等	射水市	市	プラスチックごみの回収量のアップ等

10 子ども医療費助成事業の拡充について (再要望)

県	厚	生	部	健	康	課
---	---	---	---	---	---	---

少子化の進行は、将来にわたり社会経済に深刻な影響を及ぼすものであり、有効な対応策を講じることが喫緊の課題となっています。

このため、本市では、子育てに伴う経済的な負担の軽減を図り、安心して生み育てやすい環境を整備するため、平成22年度から、中学校3年生までの子どもに係る医療費の自己負担分の全額を助成しています。平成26年度からは県内すべての市町村において中学校3年生までの子どもを対象として事業を実施しています。

また、この制度は、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、子どもの健やかな成長にも効果的な施策であると考えており、現在、県の助成を受けながら実施しています。

つきましては、県全体の少子化対策、子育て支援にも寄与するものであることから、富山県乳児、幼児及び妊産婦医療費助成事業の対象年齢の引き上げ等について格別のご配慮をお願いいたします。

射水市の子ども医療費助成に係る取組経過

年 度	経 過
平成17年度	11月1日、射水市発足（旧5市町村の助成条件は同一：未就学児） 通院・入院とも未就学児まで助成対象
平成18年度	通院・入院とも小学校3年生まで助成対象を拡大（～平成19年度）
平成20年度	通院・入院とも小学校6年生まで助成対象を拡大（～平成21年度）
平成22年度	通院・入院とも中学校3年生まで助成対象を拡大（～現在に至る）

11 伏木富山港新湊地区（富山新港）東西埋立地の環境整備について（継続）

国	国 土 交 通 省 港 湾 局
	北 陸 地 方 整 備 局
	伏 木 富 山 港 湾 事 務 所
県	土 木 部 港 湾 課
	富 山 新 港 管 理 局

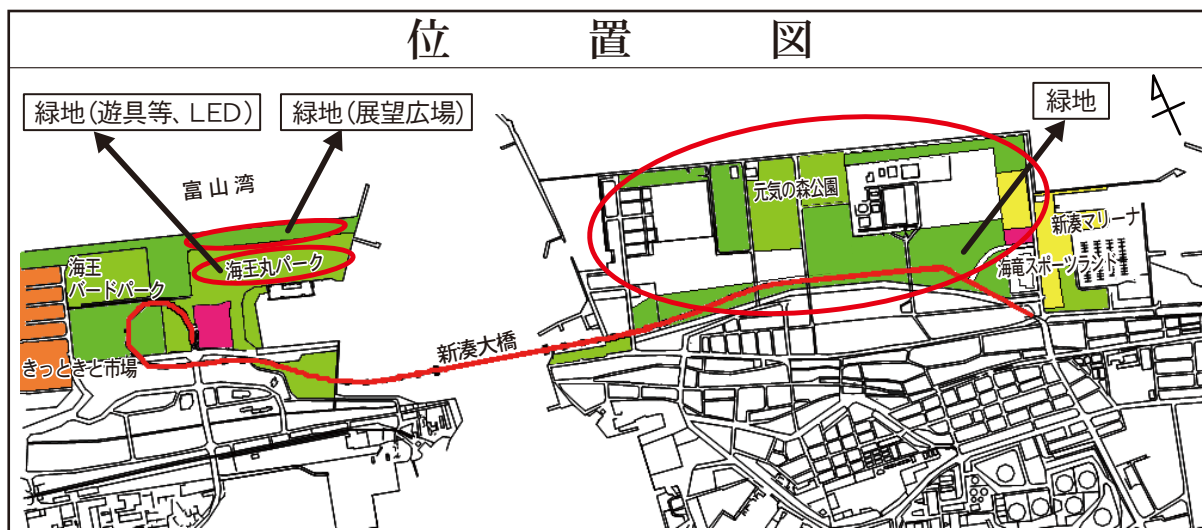
富山新港東西埋立地では、これまでも県内有数の観光施設「海王丸パーク」や「元気の森公園」、「海竜マリンパーク」等の整備が行われてきました。

海王丸パークでは、令和元年に日本で初めて富山県において開催された「世界で最も美しい湾クラブの世界総会」の関連行事等が行われ、また、来訪者数が過去最高となるなど、今後も大きな行事の開催や多くの方の来場が想定されます。

東埋立地では、本市においてフットボールセンターを整備することとしており、令和4年の完成を予定しています。

つきましては、海王丸パークの一層の魅力向上と東埋立地におけるフットボールセンターや元気の森公園など周辺施設との連携した緑地整備など、引き続き、東西埋立地の環境整備について格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名	事業箇所	事業主体	事 業 概 要
港 湾 環 境 整 備 事 業	西埋立地 (海王町)	県	緑地内の遊具やドッグラン等の整備
			展望広場周辺の景観・環境整備
			LEDイルミネーションの整備
	東埋立地 (海竜町)	県	緑地の有効活用と環境整備



12 伏木富山港新湊地区（富山新港）東西埋立 地交流厚生用地等への民間事業者等の誘致 について（再要望）

県	観 光 ・ 交 通 振 興 局
	土 木 部 港 湾 課
	富 山 新 港 管 理 局

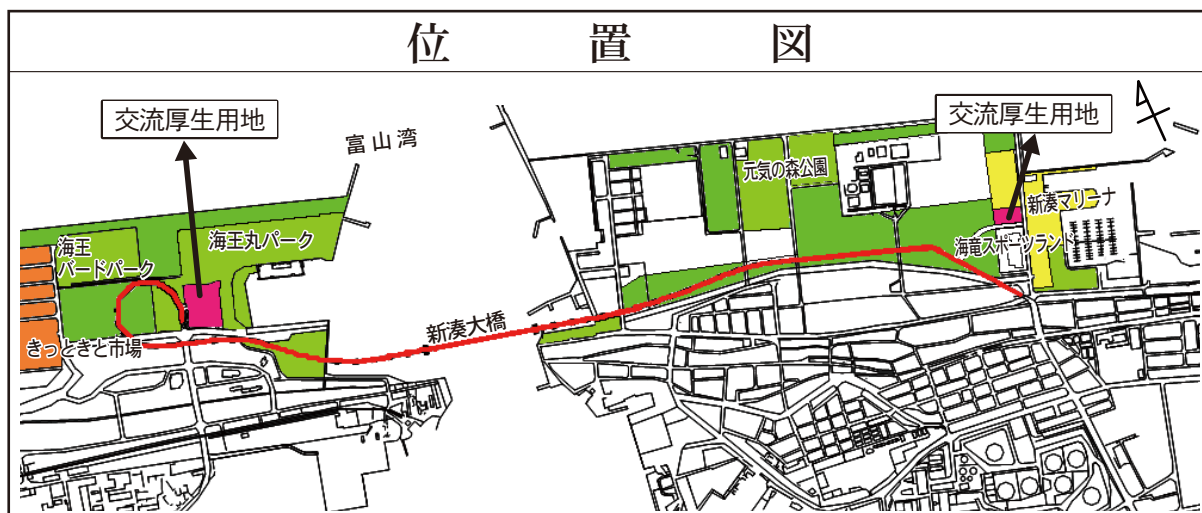
射水ベイエリアには、県内有数の観光施設「海王丸パーク」や日本海側最大の保管隻数を誇る「新湊マリーナ」が立地しており、また、県内最大規模のマラソン大会「富山マラソン」の開催のほか、令和元年には、富山湾では初の国際ヨットレース「極東杯国際ヨットレース」が開催されるなど、多くの来訪者による経済効果がもたらされています。

現在、射水ベイエリアにおいて未利用地となっている交流厚生用地等の活用は、この経済効果を継続・発展させるために大変重要であり、市としても宿泊施設の立地に対する助成金制度を設けるなど、民間事業者の進出・誘致に積極的に取り組んでいます。

また、県においても、新湊マリーナを拡張整備し、北陸新幹線の開業により身近になった首都圏等の船舶オーナーの誘致や現在進めている内川等の河川に不法係留されている船舶の新湊マリーナへの誘導により、マリーナ周辺の活性化が期待されることから、商業施設等の立地の必要性が高まっています。

つきましては、個性に満ちた活気あふれるまちづくりを進めるため、東西埋立地未利用地の利活用に対する柔軟な対応と誘致活動への連携・支援をいただくよう格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名	事業箇所	事業主体	事 業 概 要
未利用地（交流厚生用地等） の 利 用 促 進	西埋立地 （海王町）	県	活性化に向けた施策 （事業者誘致等）
	東埋立地 （海竜町）		



13 伏木富山港新湊地区（富山新港）の港湾機能の強化について（継続）

国	国土交通省港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	土木部港湾課
	富山新港管理局

日本海側屈指の国際貿易港である伏木富山港新湊地区（富山新港）では、船舶の大型化への対応や荷役の効率化を図るため港湾機能の強化が図られています。

中央ふ頭においては、岸壁の水深不足に起因する滞船が発生しており、非効率かつ不経済な荷役・輸送形態を解消すべく令和元年度より岸壁の大水深化・ふ頭の再編整備が着工の運びとなったところですが、地域産業の国際競争力強化を図る観点から早期の完成が望まれます。

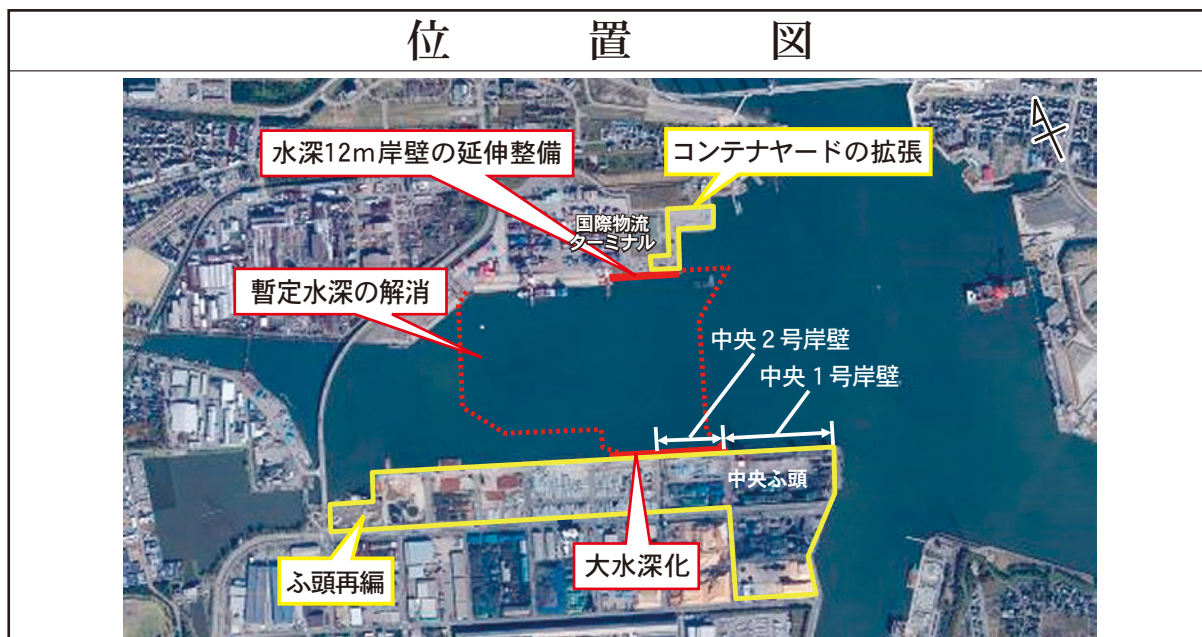
また、国際物流ターミナルでは、コンテナヤードの拡張をはじめ、令和元年6月には岸壁の延伸整備が完成し地域の企業活動の安定化が図られたところですが、引き続き港湾機能の向上が必要と考えています。

さらには、震災時における太平洋側港湾の代替機能を確保するため、大型船舶の受入れを可能とする暫定水深の解消も求められています。

つきましては、港湾物流の円滑化を推進するため、日本海側拠点港に選定された港の優先的整備について格別のご配慮をお願い申し上げます。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
港湾改修事業	中央ふ頭	国・県	既存岸壁の大水深化（水深14m、L＝280m） ふ頭の再編（岸壁、ヤード）
	国際物流ターミナル	国・県	水深12m岸壁の延伸整備（3万トン級のコンテナ船の2隻同時接岸に対応するもの） コンテナヤードの拡張 暫定水深の解消

位置図



14 伏木富山港新湊地区（富山新港）における 港湾施設の適切な維持管理及び長寿命化の 推進について（継続）

国	国 土 交 通 省 港 湾 局
	北 陸 地 方 整 備 局
	伏 木 富 山 港 湾 事 務 所
県	土 木 部 港 湾 課
	富 山 新 港 管 理 局

伏木富山港新湊地区（富山新港）は昭和43年の開港以来、本市の基幹的な物流拠点として、また、日本海側屈指の貿易港として、富山県はもとより北陸経済圏の発展に大きく貢献してきました。

昨今、社会資本の老朽化に係る問題が顕在化している中、高度経済成長期を中心に集中的に整備され開港から半世紀以上が経過した富山新港の港湾施設においても、老朽化に伴う港湾機能への支障が懸念されることから、安全・安心な港湾機能の確保が求められています。特に防波堤（波除）については、立入禁止措置が実施されており、早急な安全性の確保が求められています。

つきましては、港湾の機能維持、船舶等の事故防止、港湾施設背後における被害軽減の観点から、港湾施設の定期点検・定期修繕等、計画的かつ適切な維持管理及び長寿命化の推進について格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名	事 業 箇 所	事業主体	事 業 概 要
予 防 保 全 事 業 防災・安全交付金事業	富山新港	国・県	既存施設の維持管理及び長寿命化

位 置 図



15 日本海側拠点港（外航クルーズ部門）選定港 の優先的整備について（再要望）

国	国 土 交 通 省 港 湾 局
	北 陸 地 方 整 備 局
	伏 木 富 山 港 湾 事 務 所
県	観 光 ・ 交 通 振 興 局
	土 木 部 港 湾 課
	富 山 新 港 管 理 局

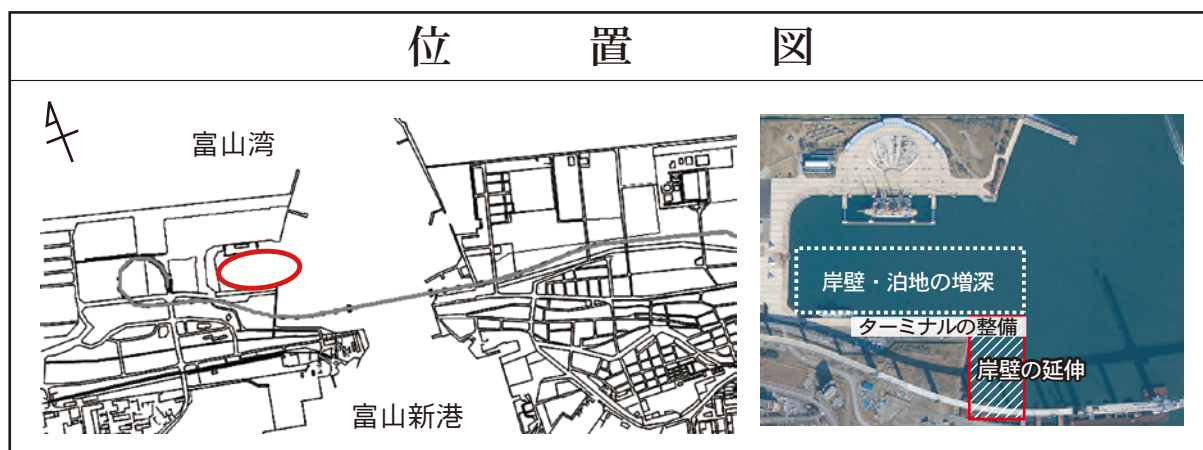
伏木富山港新湊地区（富山新港）にある旅客船バース（海王岸壁）は、隣接する海王丸パークとともに、人々が交流し賑わいを創出する港湾施設として活用が図られています。

本市としても、日本海側拠点港の更なる賑わい創出のため、外国のクルーズ船にも視野を広げ、小型（3万トンクラス）のクルーズ船を中心に旅客船会社等に対し積極的に誘致活動を行っているところです。

クルーズ船の大型化が進む中、中型や小型のラグジュアリー船の需要も高まっており、本市としても、中型船（5万トンクラス）に対応した岸壁の整備とともに、観光客をスムーズに受け入れるターミナル及び背後地の整備が急務となっています。

つきましては、富山新港の旅客船バース（海王岸壁）の今後一層の活用を図れるよう、日本海側拠点港（外航クルーズ部門）に選定された港の優先的整備を行い、併せて、国内外の客船誘致活動についても格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名	事業箇所	事業主体	事 業 概 要
港 湾 改 修 事 業	海王岸壁	国・県	ターミナルの整備 岸壁・泊地の増深 （水深7.5m→9m） 岸壁の延伸・背後地整備 （岸壁220m→280m）



16 海岸事業の整備促進について（継続）

国	国 土 交 通 省 港 湾 局
	北 陸 地 方 整 備 局
	伏 木 富 山 港 湾 事 務 所
県	土 木 部 港 湾 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

射水市東部沿岸地域は、新湊マリーナ、海竜スポーツランドといった富山県を代表する海洋レジャー施設が立地するとともに、隣接する海老江海浜公園では一部が海水浴場として利用され、賑わいのある交流空間を形成しています。

しかしながら、寄り回り波や冬季風浪による侵食が著しいことから、これまでも離岸堤、海岸堤防、消波ブロックなどの整備が進められてきたところですが、今後も安全に多くの人が楽しむことができる空間とするため、引き続きの整備が求められています。

つきましては、防災・安全交付金による海岸事業の促進、海老江海浜公園東側背後地の早期整備について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
防災・安全交付金事業 （海岸環境整備）	海老江地先	県	潜堤、背後地整備
防災・安全交付金事業 （侵食対策）	海老江地先 足洗地先	県	潜堤

